

2022年9月期第1四半期決算

MRI 三菱総合研究所

2022年2月9日

1 2022年9月期第1四半期決算

2 2022年9月期業績予想

3 トピックス

2022年9月期 第1四半期のまとめ

- 前同比大幅増収・増益
- TTC不採算案件影響の一方、ITSは金融・カード伸長で実質増収・増益

売上高： 実績 253.5億円 前同比 +94.2億円

- 実質(旧会計基準による比較)前同比 +19.1億
- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC): 実質横ばい
- ITサービス(ITS): 金融・カード伸長で実績・実質とも増収

経常利益： 実績 22.4億円 前同比 +26.3億円

- 実質前同比 Δ 2.2億円
- TTC: 不採算案件の損失により実質減益
- ITS: 金融・カード伸長等により実質増益

純利益： 実績 20.2億円 前同比 +27.4億円

- 実質前同比 +8.2億円
- 政策保有株売却、子会社(UBS)株式売却

第1四半期連結決算 <前同比>【会計基準変更影響含む】

- 会計基準変更に伴う売上の前倒し計上に伴い、大幅増収
- 旧会計基準による比較は次ページ(P5)参照

(百万円)

	2021年9月期 1Q(10~12月)	2022年9月期 1Q(10~12月)	前同比	
			増減額	増減率
売上高	15,929	25,358	+9,429	+59.2%
売上総利益	3,271	5,997	+2,726	+83.3%
売上総利益率	20.5%	23.7%	+3.2P	
販売費及び一般管理費	3,910	4,162	+252	+6.5%
営業損益	△639	1,834	+2,473	—
営業損益率	△4.0%	7.2%	+11.2P	
経常損益	△394	2,243	+2,637	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△722	2,026	+2,749	—

第1四半期連結決算 <前同比>【旧会計基準での比較】

- 実質前同比は(+)売上高・純利益、(-)営業利益・経常利益
- TTCで不採算案件による損失影響、ITSは増収・増益
- 政策保有株・子会社売却による特別利益計上で純利益増

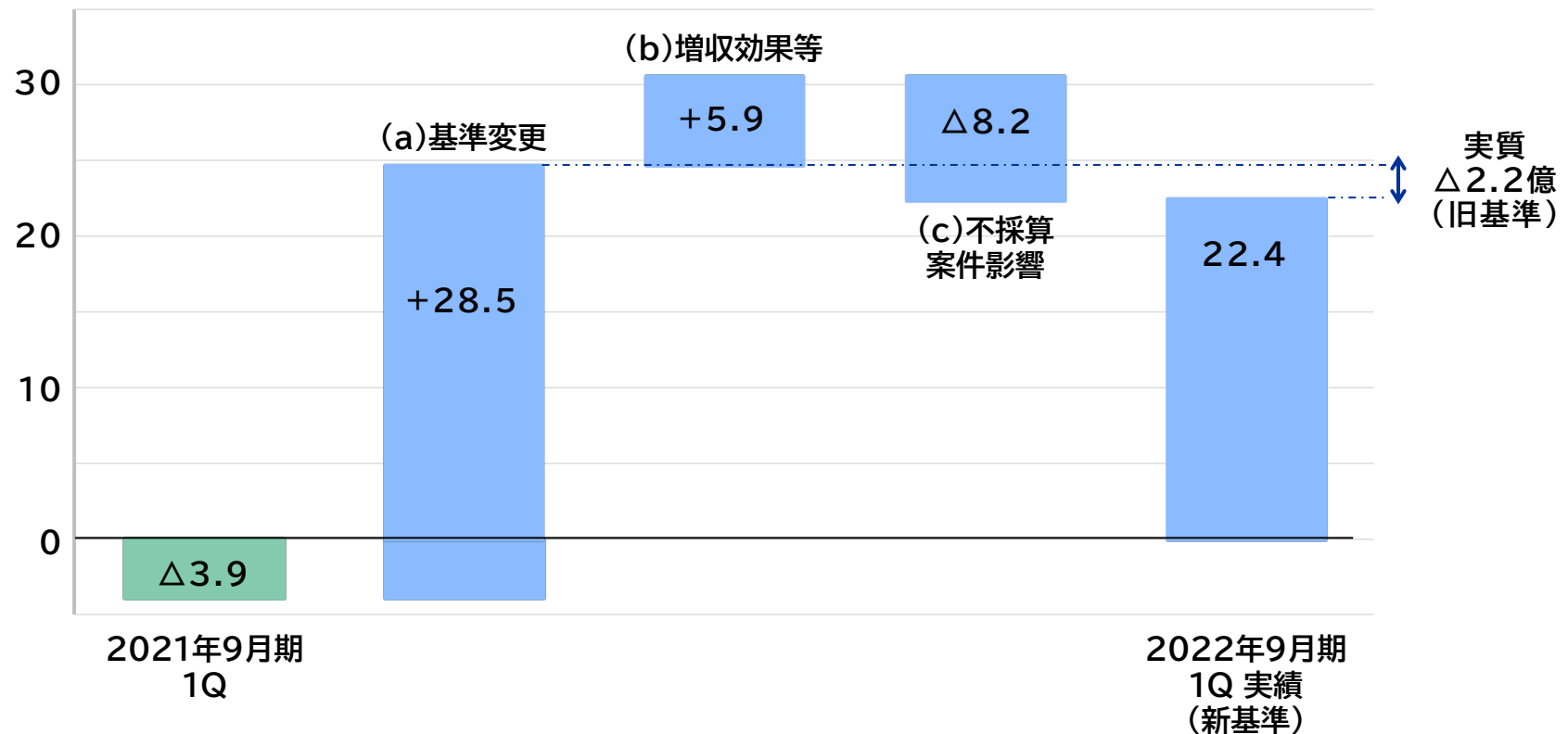
(百万円)

	2021年9月期 1Q(10~12月)	2022年9月期 1Q(10~12月)			実質前同比	
		実績 (新基準)	基準変更 影響	実質 (旧基準)	実質 増減額	実質 増減率
売上高	15,929	25,358	+7,516	17,841	+1,912	+12.0%
売上総利益	3,271	5,997	+2,857	3,139	△131	△4.0%
売上総利益率	20.5%	23.7%	—	17.6%	△2.9P	
販売費及び一般管理費	3,910	4,162	—	4,162	+252	+6.5%
営業損益	△639	1,834	+2,857	△1,023	△384	—
営業損益率	△4.0%	7.2%	—	△5.7%	△1.7P	
経常損益	△394	2,243	+2,857	△614	△220	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△722	2,026	+1,925	101	+824	—

経常利益の変動要因 <前同比>

- 21/9期1Qは△3.9億(季節変動要因)
- 会計基準変更影響(a)、ITS中心の増収効果(b)、TTC不採算案件影響(c)により、22/9期1Q実績は経常利益22.4億と黒字化
- 基準変更影響(a)を除く実質前同比は、△2.2億

【億円】



シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

	2021年9月期 1Q(10~12月)	2022年9月期 1Q(10~12月)			実質前同比	
		実績 (新基準)	基準変更 影響	実質 (旧基準)	実質増減額	実質増減率
売上高	2,378	9,035	6,637	2,397	+18	+0.8%
営業損益	△1,031	568	2,416	△1,847	△816	-
営業損益率	△43.4%	6.3%	-	△77.1%	△33.7P	
経常損益	△829	899	2,416	△1,517	△687	-
受注高(1Q)	5,747	5,628	-	5,628	△119	△2.1%
受注残高	34,463	30,176	△14,716	44,892	+10,428	+30.3%

主なポイント

- 実績(新基準)大幅増収は基準変更による売上の前倒し計上が主因、実質横ばい
- 不採算案件影響主因で営業利益△8.1億(持分法投資利益+1.2億で経常利益は△6.8億)
- 受注高は前同並み、受注残高は実質前同比30.3%増(実績値の前同比減は、進行基準での売上計上による)

ITサービス(ITS)

(百万円)

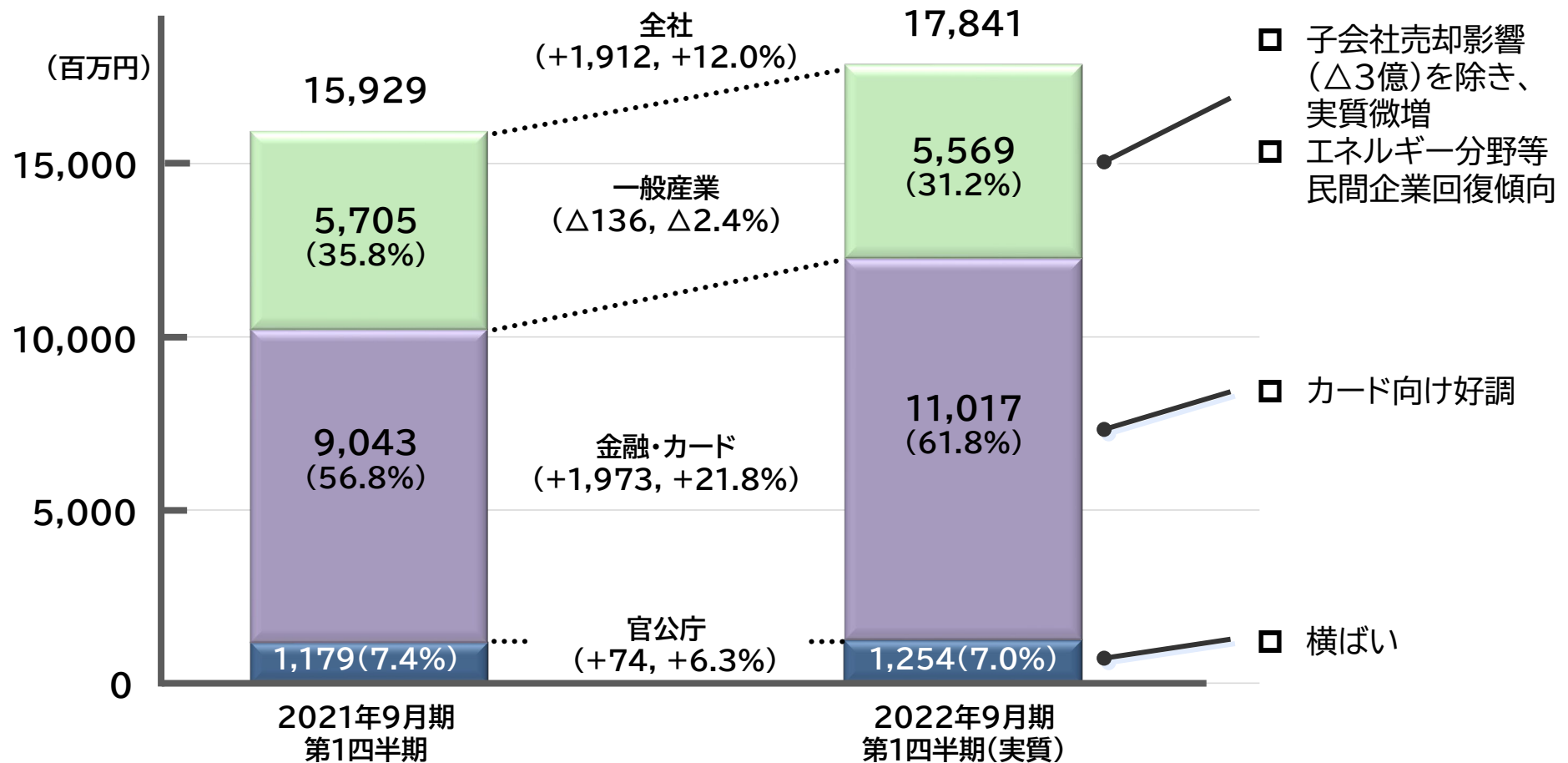
	2021年9月期 1Q(10~12月)	2022年9月期 1Q(10~12月)			実質前同比	
		実績 (新基準)	基準変更 影響	実質 (旧基準)	実質増減額	実質増減率
売上高	13,550	16,323	879	15,444	+1,893	+14.0%
営業損益	395	1,257	441	816	+420	+106.2%
営業損益率	2.9%	7.7%	-	5.3%	+2.4P	
経常損益	438	1,336	441	894	+455	+103.9%
受注高(1Q)	15,591	19,023	-	19,023	+3,431	+22.0%
受注残高	44,477	46,867	△4,031	50,899	+6,421	+14.4%

主なポイント

- 金融・カード分野の伸長により、実質増収(+18億)・増益(+4億)
- 増収とともに増益幅拡大・利益率改善
- 受注高・受注残高ともに、金融・カードがけん引、実質前同比増

顧客業種別売上高 <前同比／旧会計基準>

- 金融・カードが+21.8%と伸長
- 一般産業は子会社売却に伴う売上減(△3億)を除き、実質前同比微増(エネルギー分野等の民間企業回復)
- 実績値(新基準)は次ページ(P10)参照



参考)セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

(百万円)

(前ページ(P9)掲載図の内訳)

(新基準による実績値)

		2021年9月期 1Q	2022年9月期 1Q(実質) (旧基準)	実質前同比		<参考>	
				実質増減額	実質増減率	2021年9月期 1Q(実績・新基準)	基準変更 影響
T T C	官公庁	1,014	1,009	△5	△0.5%	5,617	4,607
	金融・カード	285	254	△31	△10.9%	906	652
	一般産業	1,078	1,133	+55	+5.1%	2,511	1,377
	TTC 計	2,378	2,397	+18	+0.8%	9,035	6,637
I T S	官公庁	165	245	+80	+48.6%	245	—
	金融・カード	8,758	10,763	+2,004	+22.9%	11,320	557
	一般産業	4,627	4,435	△191	△4.1%	4,757	321
	ITS 計	13,550	15,444	+1,893	+14.0%	16,323	879
合計		15,929	17,841	+1,912	+12.0%	25,358	7,516

- 1 2022年9月期第1四半期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

2022年9月期 連結業績予想 (期初予想から変更なし)

(百万円)

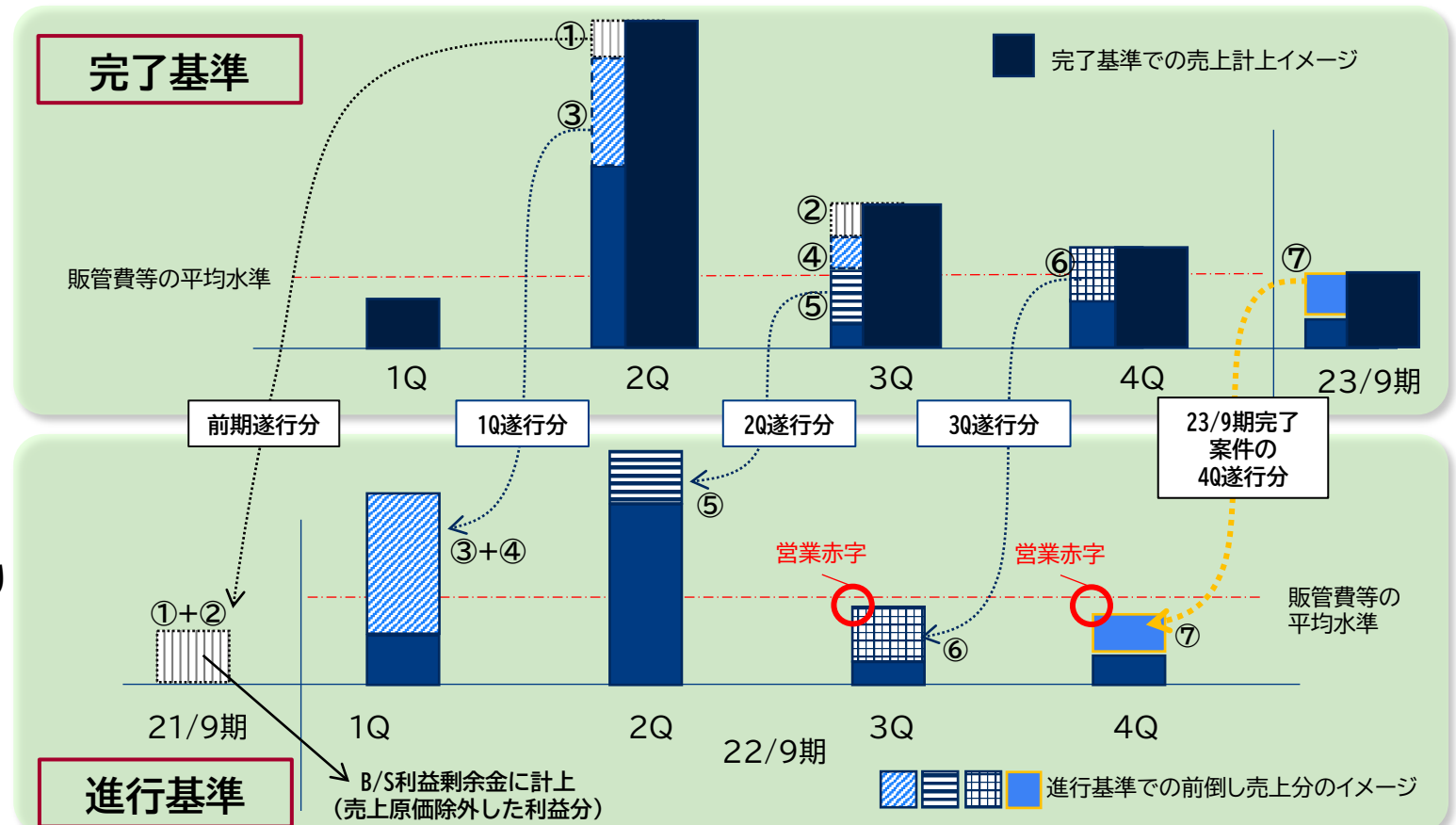
	2021年 9月期実績	2022年 9月期予想	前同比	
			増減額	増減率
売上高	103,030	113,000	+9,969	+9.7%
シンクタンク・コンサルティングサービス	40,376	44,000	+3,623	+9.0%
ITサービス	62,653	69,000	+6,346	+10.1%
営業利益	6,853	7,200	+346	+5.1%
営業利益率	6.7%	6.4%	△0.3P	
経常利益	7,568	8,200	+631	+8.3%
シンクタンク・コンサルティングサービス	4,197	4,000	△197	△4.7%
ITサービス	3,361	4,200	+838	+24.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,009	5,500	+490	+9.8%
1株当たり当期純利益(円)	308.60	339.26	+30.66	

参考) 会計基準変更による売上・利益への影響イメージ

- 新基準により、完了時一括売上 から、遂行期間にわたり売上計上 に変更
⇒売上タイミングが前倒しになる(①~⑦)
- 例年官公庁案件中心に3Qに受注し、翌2Qに納期を迎える案件多数
⇒2Q完了に向け業務遂行のピークが高まるため、1Q、2Qにかけて売上増(前倒し:③~⑤)

- 下期は、下期に受注した翌期完了案件の進捗分が売上となる(翌期から当下期へ前倒し:⑥、⑦)
⇒受注時期・進捗により売上が小さく、四半期均等に発生する販管費等をカバーする水準に至らない可能性
= 営業赤字見込み
(決算短信P3記載の通り)

- 期中受注動向で変動あり



注)あくまで「収益認識に関する会計基準」適用の影響をイメージとして示したものであり、当期各四半期の売上高の増減を正式に予想したものではありません。

- 1 2022年9月期第1四半期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

トピックス:最近のリリース

日付		タイトル
【MRI】		
2022.2.1	DX	<u>ドローンを活用した医薬品配送の実証実験を実施(東京都委託に基づく公募事業)</u>
2022.1.31	DX	<u>SCSK Minori社とデジタル地域通貨サービス「Region Ring®」における協業契約締結</u>
2021.12.21	ESG	<u>Oxford大学から海外インターンシップでAwardを受賞</u>
2021.12.15	DX	<u>めぶきフィナンシャルグループと審査AIサービスの実証を開始</u>
2021.12.2	ESG	<u>ハイブリッド型雇用システムの構築に向けた研究成果を公表</u>
2021.11.30	ESG	<u>新潟県阿賀野市でメガソーラー発電所の商業運転を開始</u>
【DCS】		
2021.12.13	DX	<u>熟練技能者の暗黙知をAIに代替させる実証実験を開始</u>
2021.12.8	DX	<u>通話、会議の全自動録音サービスをクラウドで提供する、Microsoft Teams録音サービス「nokos」を発売開始</u> <u>～FISC安全対策基準準拠のマルチクラウドストレージ「Dibertas」を採用～</u>

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : www.mri.co.jp/

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所